

令和4年度 家庭科「家庭基礎」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組～H組
教科書	家庭基礎（第一学習社）	副教材等	学習ノート・生活ハンドブック（第一学習社）

1 学習の到達目標

<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	家庭基礎の学び方 ホームプロジェクトについて		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭基礎の学習やホームプロジェクトの意義、学習方法や評価の観点について学ぶ。 ・被服実習の希望の色を選ぶ。調理実習に向けて、アレルギー調査を実施。 	
	第1章 これからの生き方と家族	1 生涯の生活設計 2 家族・家庭と社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの特徴と課題を学ぶ。 ・生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つけ、職業選択を見通す。 ・固定的な性別役割分業意識を見直し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を理解する。 ・家事労働・職業労働の特徴を理解し、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 ★課題<家族・家庭に関する法律を学習> 18歳成人を踏まえ、家族・家庭に関する法律について、現在の動きを知る。 	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 課題レポート分析 行動観察
5 6	第6章 衣生活をつくる	1 人の一生と被服 2 被服材料と管理 3 これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ・被服のさまざまな役割・選び方を知る。 ★課題<コーディネートを考える> ★観察<織物の3原組織の班別>スマートフォンの写真機能を用いて、制服の組織を班別する。 ・被服材料の特徴・被服整理や被服管理について科学的に理解する。 ★観察<制服の手入れ方法を学ぶ>制服の組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示などを調べ、意味を理解し、衣替えの際の家庭での被服管理に活用する。 ★被服製作<手縫いのティッシュカバーづくり> 日常生活に必要な基礎的な技能を身につけ、工夫することで身近に活用できる手作り品を製作する。 	ワークシート分析 行動観察 行動観察 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 進捗表分析 行動観察 完成作品
7 8	ホームプロジェクト	期末考査 夏季休業課題	<ul style="list-style-type: none"> ★課題<自分や家庭、地域の社会における問題を発見し、解決策を構想する。> 	成果物分析(2学期の評価として)
9	第7章 住生活をつくる	1 人の一生と住まい 2 住生活の計画と選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた住居を考える。 ・バリアフリーの考え方を理解し、実践する力を身につける。 ・住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何かを考える。 ★課題<自分の理想の住まいを設計する> 	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 進捗表分析 行動観察 完成作品

10	第5章 食生活をつくる	1 人の一生と食事 2 栄養と食品 3 食生活の安全のために 4 食生活をデザインする	・食品の栄養的特質や調理特性について科学的に理解する。 ・青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。 ・日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを理解し、自分や家族の食生活を改善する力を身につける。 ★調理実習 ・第1回調理実習<ガイダンス及び災害食づくり> ・第2回調理実習<和風だしの取り方> (または、DVD視聴・シール教材等)	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析
11	第3章 充実した生涯へ	1 超高齢社会を生きる 2 高齢期の生活	・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の変化や特徴について理解する。	ワークシート分析
12	第4章 ともに生きる	1 様々な人への支援を考えよう 期末考査	★車椅子実習 <車椅子の適切な使い方を知り適切な支援の方法を学ぶ>	行動観察 ワークシート分析
1	第2章 次世代をはぐぐむ	1 子どもの発達 2 子どもの生活 3 子育て支援と福祉	・子どもの育つ力と発達段階を知る。 ・子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、課題の解決策を考える。 ★課題<絵本読み聞かせ(または絵本づくり)>、グループ学習 子どもの遊びの意義や子どもの発達の特徴を理解し、その中でも絵本の役割知ることでも絵本をグループ内で読み聞かせを行う(感染状況により、成果物を作成してグループ内にて発表)	ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析
2	第8章 経済生活をつくる 家庭基礎を学んで(まとめ)	1 私たちの暮らしと経済 2 消費者問題を考える 3 持続可能な社会をめざして	・高校卒業後の経済的自立と職業について主体的に考える ★課題<DVD視聴～> 悪徳商法のロールプレイングを見て、安全で安心な生活を営めるよう行動する力を身につける。 ・1年間の学習を終えて、夏季休業中の課題を振り返り、反省・評価する。	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
3		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣生活、消費や環境などについて理解しているとともにそれらに係る技能を身につけている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価の方法

次の3観点を、記載の評価資料にもとづいてABCで評価します。

◎ 知識・技能	定期考査、小テスト等
◎ 思考・判断・表現	定期考査、レポート、小テスト等
◎ 主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート、提出物、レポート、授業態度等

観点ABCの判断基準は以下の通りとなります。

- A・・・十分満足できる (学習達成状況 100%～80%)
- B・・・おおむね満足できる (学習達成状況 79%～30%)
- C・・・努力を要する (学習達成状況 29～0%)

5 担当者らのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

授業では、講義式、班別学習、個人作業等、様々な形態の学習活動を行います。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス

- ・学習の中で習得した知識や技術を日常生活の中に活かすことで、より主体的な高校生活が送れることを期待します。
- ・家庭科は「人の一生」がテーマです。高校生では、理解することが難しいと感じられる年代の気持ちや福祉に関する知識を学習します。是非、素直な気持ちで、授業に望んでください。他者の気持ちを想像する力が大切です。また、基本的な事項や課題の内容を暗記するのではなく、生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していく姿勢が大切です。
- ・社会の状況に応じながら、グループで学習する機会があります。実習が楽しくスムーズにすすむように協力・協調しあう気持ちで臨んでください。
- ・限られた時間内で行う学校の実習だけでは、技術を十分に身に付けることはできません。そのため、授業だけではなく、家庭でも繰り返し行ってみるのが大切です。ぜひ実践しその成果を話してください。
- ・ニュースや新聞に目を通し、家族や家庭を取り巻く社会情勢の変化に気づきましょう。より多くの情報が集められるよう努力していくことも大切です。

授業を受けるにあたって守ってほしい事項

- ・授業は、教科書の順番で進むのではなく、各単元を融合させて進みます。関連した資料集や教科書のページを必ずメモしておいてください。家庭科は、すべての単元をバランスよく身に付けていくことが大切です。
- ・ワークシートやプリント等の資料を沢山配布するので、その管理は重要です。**はさみ・のりを持参**し、きちんとまとめることを心がけてください。
- ・授業場所が授業内容により異なります。連絡をよく聞いて集合してください。
- ・提出物の期日は必ず守ってください。期限後の提出は成績に反映することができない場合があります。作品やプリント等の提出により、単位修得となります。
- ・欠席すると授業がわからなくなるだけでなく、評価にも影響します。体調管理に留意し、次の授業までに必ず欠席したことを教科担当に伝え、指示内容を把握し、挽回しましょう。
- ・調理実習を実施する際は、エプロン・三角巾が必要となります。事前に連絡しますので、衛生を保つためにも忘れ物がないようにしましょう。
- ・家庭で使用している生活用品のメーカーや食品パッケージなどを調べてもらう宿題を出すこともあります。学習内容を理解するためにも事前の取り組みが必要となりますので、積極的に行いましょう。